

救急外来センター

1. 概要

当院救命救急センターは、東三河の1次から3次までのあらゆる救急患者に対応している。病院からはドクターカーを出動させ、心肺停止や、高エネルギー外傷に対して病院前から積極的治療を展開している。またヘリポートを併設しているため、東三河全域より、ドクターヘリで重症救急患者を受け入れているのが特徴である。

救急外来センターでは、医学生、研修医、地域の救急救命士等に対して毎朝勉強会を行い、また月例のICLSコース（突然の心停止に対して直ちに行う処置）を開催しており、院内医療スタッフ、地域救急隊員ともに、質の向上を目指している。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも重症救急患者の受け入れを続け、厚生労働省が行う救命救急センターの充実度評価において、「重篤な患者」は1,448名/年で愛知県24センター中7位、総合点は65点満点中54点で同じく7位の実績であった。

（センター長 平松 和洋）

2. 活動報告

(1) 年齢区分別救急外来受診患者数

診療科	15歳未満		15歳以上65歳未満		65歳以上		計
	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	
総合内科	8	0.6%	852	58.9%	587	40.6%	1,447
呼吸器内科	2	0.2%	334	30.3%	767	69.5%	1,103
消化器内科	7	0.3%	1,207	43.2%	1,580	56.5%	2,794
循環器内科	0	0.0%	327	28.0%	842	72.0%	1,169
腎臓内科	0	0.0%	51	21.1%	191	78.9%	242
糖尿病・内分泌内科	0	0.0%	91	41.9%	126	58.1%	217
脳神経内科	3	0.2%	554	38.1%	897	61.7%	1,454
血液・腫瘍内科	0	0.0%	61	20.9%	231	79.1%	292
一般外科	46	4.7%	435	44.9%	488	50.4%	969
小児外科	12	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12
肛門外科	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
呼吸器外科	0	0.0%	86	50.3%	85	49.7%	171
心臓外科・血管外科	0	0.0%	15	23.1%	50	76.9%	65
移植外科	0	0.0%	14	73.7%	5	26.3%	19
整形外科	313	12.2%	1,273	49.8%	970	37.9%	2,556
リウマチ科	0	0.0%	2	15.4%	11	84.6%	13
形成外科	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
脳神経外科	479	28.8%	475	28.6%	707	42.6%	1,661
小児科	1,812	96.0%	76	4.0%	0	0.0%	1,888
産婦人科	10	1.1%	812	91.6%	64	7.2%	886
耳鼻いんこう科	142	11.9%	591	49.7%	456	38.4%	1,189
眼科	56	18.7%	183	61.0%	61	20.3%	300
皮膚科	165	14.8%	611	54.9%	336	30.2%	1,112
泌尿器科	27	2.2%	551	44.5%	659	53.3%	1,237
歯科口腔外科	79	30.3%	122	46.7%	60	23.0%	261
こころのケア科	0	0.0%	81	52.6%	73	47.4%	154
アレルギー内科	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1
計	3,161	14.9%	8,807	41.5%	9,246	43.6%	21,214

(2) 救急救命センター「重篤な患者数」実績

病態	患者数(人)
病院外心停止	240
重症急性冠症候群	110
重症大動脈疾患	35
重症脳血管障害	189
重症外傷	402
指肢切断	12
重症熱傷	1
重症急性中毒	12
重症消化管出血	186
敗血症	113
敗血症のうち、敗血症性ショック	52
重症体温異常(熱中症、偶発性低体温)	30
特殊感染症(壊死性筋膜炎、破傷風等)	10
重症呼吸不全	36
重症急性心不全	31
重症意識障害	16
重篤な急性腎不全	20
その他の重症病態	1
合計	1,448

(2020.1 ~ 12)